

シグマ研究委員会WRENDAグループ会合議事録

日 時 昭和53年5月25日 13・30～17・00

場 所 原研(東海)研2棟408号室

出席者 中嶋, 松延, 大竹, 浅見(明), 田村, 更田, 浅見(哲), 五十嵐

議事

I WRENDAグループの活動方法について.

従来のWRENDA活動は分裂炉, 融合炉, 保障措置の3つに分れて活動を行って来たが, 昨年の組織改正で一本化した活動をする事になった。今回はその最初の会合である。

当グループの役割は「核データの要求について国内の要求を取りまとめ, 要求リストを作り配布すると同時にNEA DATA BANKに送るなどの国際協力の窓口となる」ことである。

リクエストの集め方, 選択の方法, まとめ方, 測定や評価への反映などについて大要以下のような議論があった。

(1) リクエストの集め方:

原則としては, リクエストの受け付けは常時行われていることになっているが, 現実にはWRENDAの改訂時期に合わせてアンケートを取っている。

アンケートの回答形式は書き易いことが大事である。葉書形式を考えてはどうか。

核データニュースにマシン目付きの用紙を入れて随時リクエストが出来るようにすることも考えられる。

集まったリクエストがすべて適当かどうかは別として一旦計算機システムに入れ, それから引き出して選択にかけるようにする。ナショナルリクエストも計算機化しておく作り易い。

特殊な量に対するリクエストも用意しておく必要があるのではないか, という意見もある。

アンケート用紙の形式、計算機化の具体案を五十嵐委員が考えることになった。

(2) リクエストの選択について：

当グループは大まかな仕分けを行い、個々の問題についてはそれぞれ適当な専門家（あるいはグループ）に検討を依頼する。

リクエストの根拠、要求精度の根拠等については従来や、薄弱な面があったので、今後は明確な根拠を記入するようにして行く。但し、アンケートの回答は気軽に出せるようにする。

(3) リクエストリストのまとめ方について：

大きくは分裂炉、融合炉、保障措置の区別と測定の要求か評価の要求かの区別をつけることが必要である。

データの現状との対応が分るようにしておく必要がある。これはデータの現状表示システムとも関係するし、CINDAとも関連するので、システムの的に検討してみる。

(4) 測定や評価への反映について：

原子力学会会合の際の特別会合は本来このことのために考えられたことである。

当グループとしても適当な人に適宜話を持って行くようにする。また、Priority 1 のリクエストを測定する場合、外国では優遇措置があるが、我が国でも何か考えられないか。

II. High Priority Request List の検討.

第20回NEANDC会合の宿題として、欧州、米国、日本からの High Priority Requestの測定および評価の現状、計画との関連を調査することになった。日本からはJAERI-M7081をNEANDCメンバーに送り、その中のPriority 1の項目について検討してもらうよう要請した。同時に国内の測定者には欧州、米国のリストと共にJAERI-M7081を送って回答を要請した旨更田委員から報告があった。

これに関連して、JAERI-M7081はWRENDA 76/77 への寄与時に行った調査で少々古いので、再検討または改訂版を作る必要がないかどうかを議論した。JAERI-M7081のPriority 1の項目を調べたが、数件を除き不適當なリクエストとは思えないので、上記の措置はそのままとして、むしろ次回のリクエストリスト作成を急ぐことにした。

Ⅲ. リクエストリスト作成について

時期的にはWRENDA 78/79 が出ても良いのに、IAEAからの働きは未だない。しかし、我々としては準備しておいて良いし、JAERI-M7081 以後2年を経ているので、リクエストリストの改訂を行うことにした。

スケジュール：

- 1). アンケート発送 : 5月末
- 2). アンケート回答 : 6月末
- 3). アンケート回答の検討 : 7月上旬(グループ会合)
- 4). 回答者への質問等の発送 : 7月中旬
- 5). 上記の回答 : 7月下旬
- 6). リクエストの最終選択 : 8月上旬(グループ会合)

JAERI-M7081の検討を含む。

- 7). リストの検討とHarwell Conf.へのコメント : 9月上旬

(グループ会合)

このスケジュールに従い、JAERI-M7081 に記載のリクエスターにはその内容を再検討してもらい、7月下旬までに回答してもらうことにした。

リクエストの内容は出来るだけ定量的根拠を明確にしてもらうこと、測定へのリクエストか評価へのリクエストかを明確にしてもらうことを申し合せた。

次回 7月上旬